

## △ 注意

## 組立てる前に

- 組立てる前に、全ての部品が揃っているかお確かめください。
- 取扱説明書に従って、正しく組立ててください。
- 組立ての際は、平らな床の上で行い、床がギズつかないようにダンボールなどを敷いてください。
- 組立ての際は、指などを挟まないように十分注意してください。
- 組立ての際は、部品などを小さなお子様の手の届くところに放置しないでください。
- 設置する予定場所の近くで組立てることをおすすめします。また、2人以上で組立てることをおすすめします。
- シェルフは、必ず2枚以上(上段・下段)を取付けてください。シェルフの間隔が狭いと不安定になります。
- 割れたり破損した部品のご使用はお止めください。
- シェルフは、スリーブの高さを揃えてシェルフ類が水平になるようにポールに確実に取付けてください。
- シェルフを取付けた後は、固定するためにシェルフに布を当ててハンマー(プラスチック・木・ゴム製)などで軽く叩いて確実にはめ込んでください。

## ご使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。また、本来の用途以外でのご使用はお止めください。
- 絶対に水槽はのせないでください。シェルフがたわみ、水槽に無理な力がかかるため破損して水漏れ等の原因となります。
- 耐荷重を超えるものはのせないでください。ものをのせる場合は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。
- ストーブ等の火気の側でのご使用はお止めください。
- サビが発生する原因になりますので、湿気の多い所でのご使用はお止めください。
- シェルフに、濡れた物を放置するとサビが発生することがあります。本体が濡れた場合は乾いたやわらかい布等で拭いてください。
- 不安定な場所や、段差のある場所でのご使用はお止めください。
- 転倒の原因になりますので、本体によりかかったり・座ったり・踏み台としてのご使用はお止めください。また、本体に手をついたり、つかまって立ち上がったりしないでください。※特に幼児やお子様にはご注意ください。
- 本製品のアジャスターは、環境(同じ場所での長時間固定・紫外線の多くあたる場所・温度や湿度の高い場所など)によっては、色移り(移行)現象によりクッションフロア材(塩化ビニル製)の表面が変色する場合があります。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重でしづんだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いてご使用ください。
- 格子状のシェルフには、安定しないものはのせないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなど熱いものを直接置かないでください。表面が変形したり、変色したりする恐れがあります。
- 上段のシェルフに、重いものをのせると不安定になりますのでお止めください。
- 本製品を移動させる際は、シェルフにのっているものを全ておろし、ポール部分をしっかりと持てからゆっくり移動してください。シェルフの部分だけを持ち上げると、構造上シェルフがはずれる可能性があるので非常に危険です。
- 地震などで本体が倒れ、ケガをすることがありますので、より安定させたいお客様は建物の壁・床・天井などに市販の固定金具や固定部材(日曜大工売場でお求めください)でしっかりと固定してください。
- AV機器・パソコン類・レンジなどの調理家電の家電製品を設置する場合は、その取扱説明書に従って周囲に十分な隙間を確保して通気を良くしてください。家電製品の故障や火災の原因となります。

## 保存・点検上の注意

- ご使用中に、破損や変形などが生じたら、すぐにご使用をお止めください。
- 2~3ヶ月に1度は各部のゆるみを点検してください。
- 汚れを落す際は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい場合には、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしばったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- 変色や塗装がはがれる原因になりますので、ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などのご使用はお止めください。また、化学薬品を含む化学雑巾やクリーナーなどは、その注意書きに従ってご使用ください。
- お客様自身での、修理及び改造はお止めください。

株式会社ドウシシャ

お客様相談室  
〒108-8573 東京都港区高輪2丁目21番46号

0120-104-481

【受付時間 9:00 ~ 17:00 祝日以外の月~金】  
※商品名・品番をご確認の上、お電話くださいますようお願い致します。  
※お電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ 検索

171024D

MADE IN CHINA

Lot No.

## ルミナス ノワールテンションラック7段76W

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品番	組立てサイズ(cm)				ポール径 (mm)	耐荷重(kg) <sup>※1</sup>		
	幅	奥行	(前側)高さ	(後側)高さ		シェルフ (1枚あたり)	置き棚 (1枚あたり)	全 体 <sup>※2</sup>
NO76-7T	(約)78	(約)27.5	(約)174	(約)220~280	φ25	(約)80	(約)20	(約)380

※1 耐荷重の値は、シェルフに均等に荷重をかけた場合の値です。耐荷重は測定値であり、この値を保証するものではありません。

※2 乗せるものの合計荷重が、表記の全体耐荷重を超えないようにしてください。全体耐荷重は、シェルフなどを買い増した場合も表記と同じです。

## 内容明細

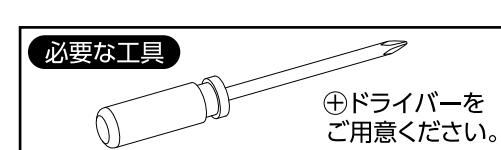
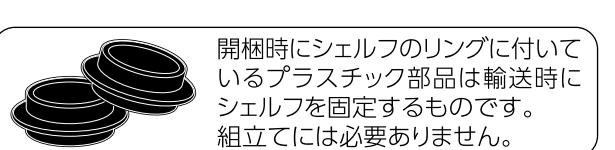
※内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	シェルフ	置き棚	ワイヤーバー	ディバイダー
部品図				
数量	4枚	3枚	6本	12本

部品名	前側ポール(2分割タイプ)		
部品図		上部ポール キャップ ジョント 下部ポール ジョント受け部分	下部ポールは前後とも長さは同じです。
数量	各2本		

部品名	後側ポール(3分割タイプ)		
部品図		テンションポール テンション部分 中部ポール ジョント 下部ポール ジョント受け部分	下部ポールは前後とも長さは同じです。
数量	各2本		

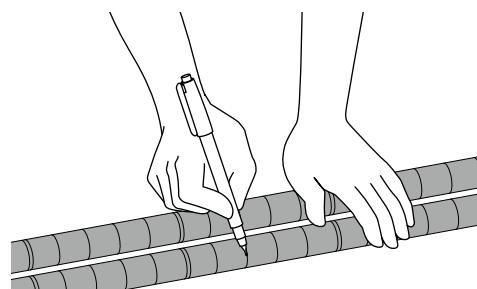
部品名	スリーブ	円形アジャスター	ネジ	ワッシャー
部品図				
数量	28組 + (予備1組)	4個	6本	6枚



## 本体の組立て方

### 1 シェルフ取付けの位置決め

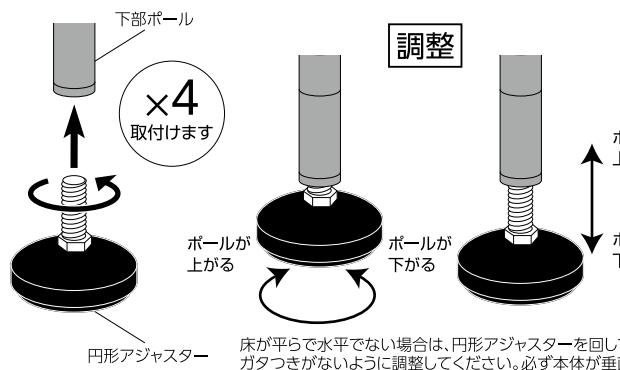
ポールに刻まれた溝がシェルフの位置になります。それぞれのポールに同じ高さの印を付けておくと組立てやすくなります。



※高さを合わせる目安として、各ポールに等間隔に二重線が付いています。  
※二重線のところは上側に印をつけて取付けてください。

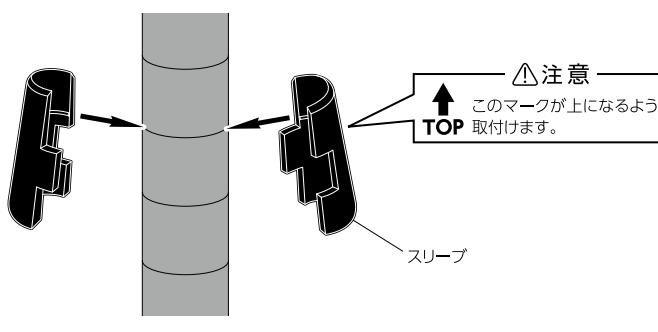
### 2 円形アジャスターの取付け

下部ポールに円形アジャスターを取り付けます。



### 3 スリーブの取付け

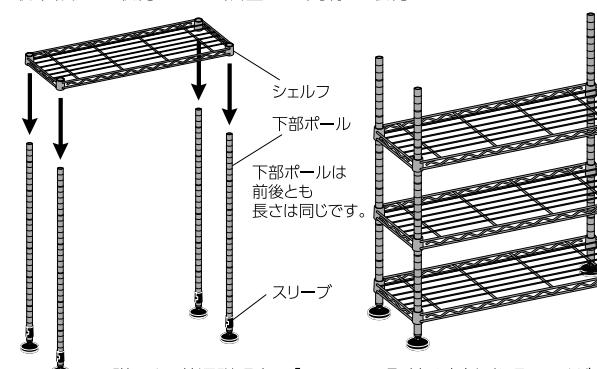
ポールの溝にはまるようにスリーブを取付けます。取付けた後、スリーブが上下に動かないことを確認します。



※詳しくは共通説明書の「スリーブの取付け方」を参照してください。

### 4 シェルフの取付け シェルフは必ず下段から取付けてください。

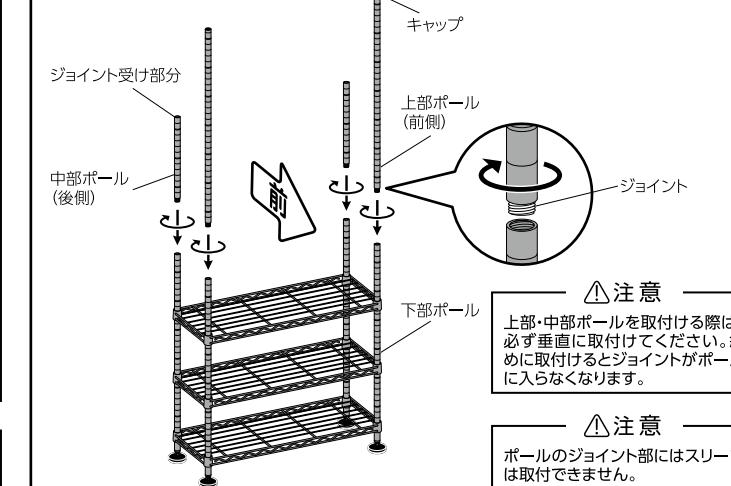
シェルフのそれぞれのリングに③のポールを差し込みます。  
最下段から取付けて、3段目まで同様に取付けます。



※詳しくは共通説明書の「シェルフの取付け方」を参照してください。

### 5 上部・中部ポールの取付け

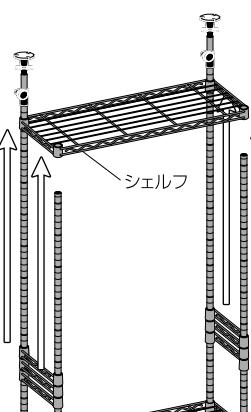
上部・中部ポールについているジョイントを下部ポールにねじ込むように取付けます。



### 8 最上段のシェルフの取付け

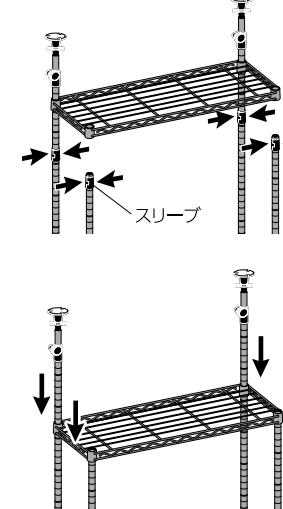
1

スリーブを取付ける位置より上にシェルフを持ち上げます。



2

スリーブを取付けます。

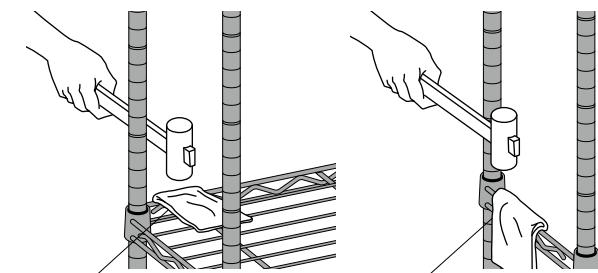


3

シェルフをスリーブの位置まで降ろして取付けます。

### 10 シェルフ・ワイヤーバーの固定

シェルフ・ワイヤーバーをハンマー(プラスチック、木、ゴム製)などで軽くたたいてスリーブ部分に押し込みます。

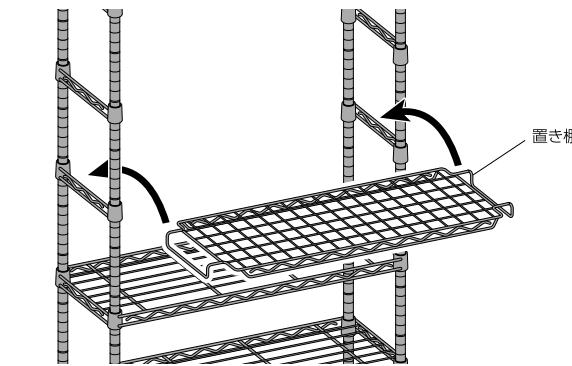


当て布などでたたく部分を保護します。  
中のワイヤーは直接たたかないでください。

当て布などでたたく部分を保護します。

### 11 置き棚を置く

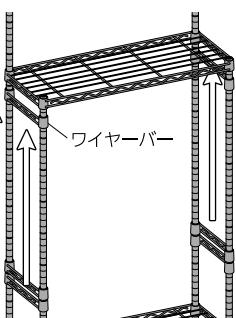
ワイヤーバーの上に置き棚を置きます。



### 9 ワイヤーバーの取付け その2

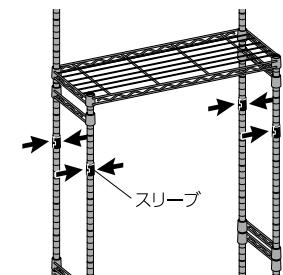
1

スリーブを取付ける位置より上に左右のワイヤーバーを持ち上げます。



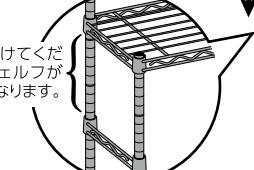
2

スリーブを取付けます。



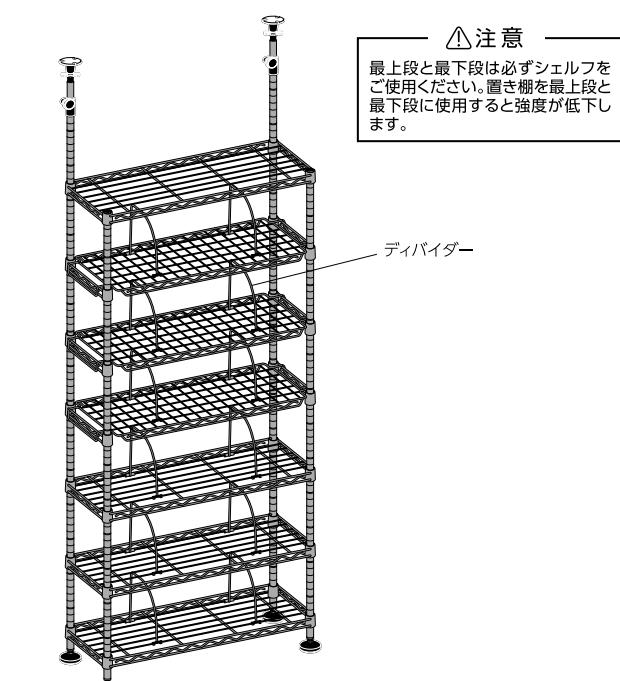
3

左右のワイヤーバーをスリーブの位置まで降ろして取付けます。



### 12 完成

任意の場所にディバイダーを取付けて完成です。  
シェルフ・置き棚の位置は自由に調節できます。



#### テンションのかけ方について

テンションのかけ方については「共通説明書」をご覧ください。  
テンションをかける前に、必ず円形アジャスターを調節し、本体が垂直・水平で安定していることをご確認ください。